

ご参加ありがとうございます。定刻になりましたら開始します。

大学生に対する糖尿病教育が糖尿病家族のウェルビーイングに 及ぼす影響に関する研究について オンライン説明会

糖尿病とあゆむウェルビーイングの新しい形
～大学生の力で支える未来に続く支援ネットワークの構築～

日本糖尿病協会マスコットキャラクター
「マールくん」



患者さんや家族を丸く包み、
みんなのつながりを広げるキャラクター



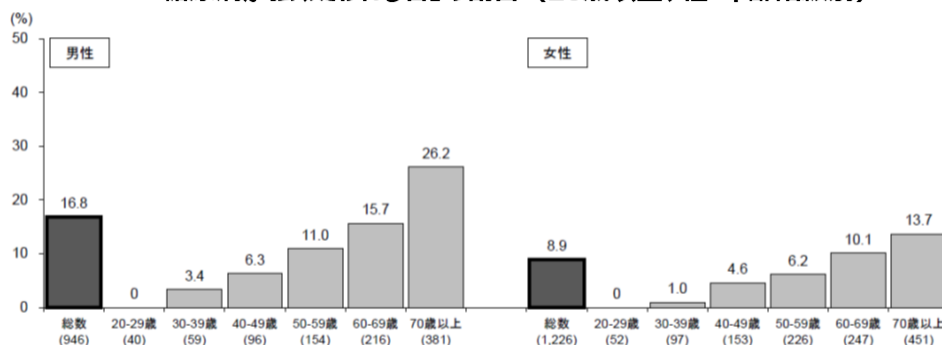
木村 真希

神戸大学
インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター 保健管理部門

糖尿病を持つ人の割合は男性6人、女性11人にひとり



「糖尿病が強く疑われる者」の割合（20歳以上、性・年齢階級別）



出展：厚生労働省「令和5年(2023)国民健康・栄養調査」の結果（令和2,3年は調査中止）

糖尿病の治療は飛躍的に発達していますが……

糖尿病患者の

- ・**77%**が何らかのメンタル不調を自覚
- ・**75%**が現状以上の心身サポートを求めている

【2024年 国際糖尿病連合報告】



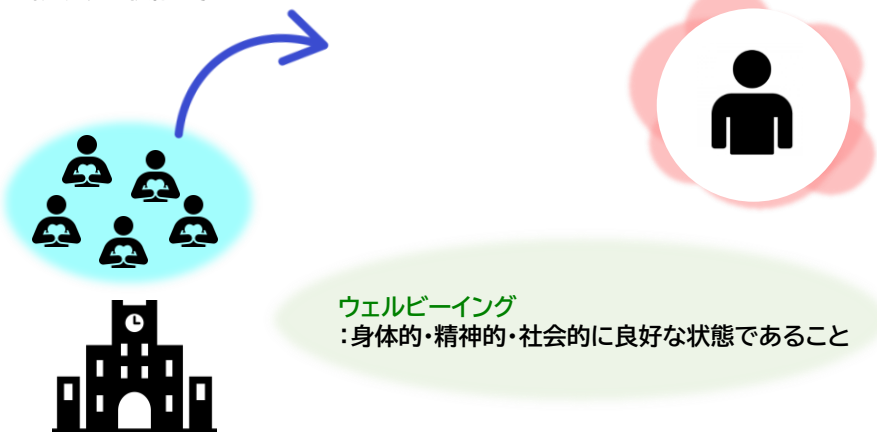
用語の説明

大学生サポーター

: ご家族に糖尿病患者さんがいる神戸大学または院生で、本研究の糖尿病教育プログラムを受講し、その内容を糖尿病患者さんに説明する役割を担う方

糖尿病患者さん

: 2型糖尿病で定期通院し、血液検査でHbA1cを測定している方で、大学生サポーターのご家族



糖尿病と歩むひとのウェルビーイングを阻む問題

- ・**スティグマ**(糖尿病に対するいわれなき偏見や差別)
- ・**デジタルデバイド**(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差)
- ・健康習慣継続を阻む**ライフスタイルの多様性**など

持続可能で誰でも容易に利用できる 社会的サポートシステム構築が必要

そこで、私たちは大学という教育機関の立場から、**糖尿病を持つ方をご家族に持つ神戸大学生(以下、大学生サポーター)**に、糖尿病教育プログラムを提供し、その内容を**糖尿病患者である家族**に伝達してもらうことにより、糖尿病患者さんのウェルビーイングが向上するかどうかについての検討を行うことにしました。

【目的】

糖尿病教育プログラムを受けた**大学生サポーター**と**糖尿病家族**の間でそのプログラム内容を共有することにより、糖尿病患者さんの主観的ウェルビーイング指標に及ぼす変化を検証する

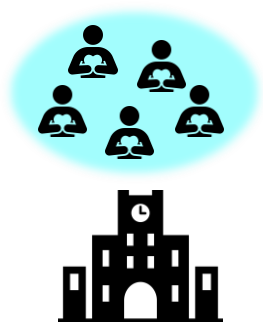
【意義】

本研究は、医療分野における研究ですが、サポーターは大学生であり、医療を伴わない互助的な理解・支援が、「糖尿病と歩む人」のウェルビーイング指標にどう影響を及ぼすかを検討する点に医学的意義があります。



大学生サポーターの要件

1. 神戸大学に在籍している学部生または大学院生
2. 家族に【糖尿病患者】の対象となる人がいる。
同居/別居の別は問わない。
3. オンラインプログラムを受講できる機器を使用すること



糖尿病患者さんの要件

【糖尿病患者】

1. **2型糖尿病**で定期通院し血液検査で**HbA1c**を測定している
2. 研究開始時と終了時に、**過去3カ月以内のHbA1c**の検査結果(採血結果用紙や糖尿病連携手帳の控えなどそれに準ずるもの)および**服薬内容**(お薬手帳やそれに準ずる服薬内容)の控え・体重を郵送または電子媒体で提出すること。

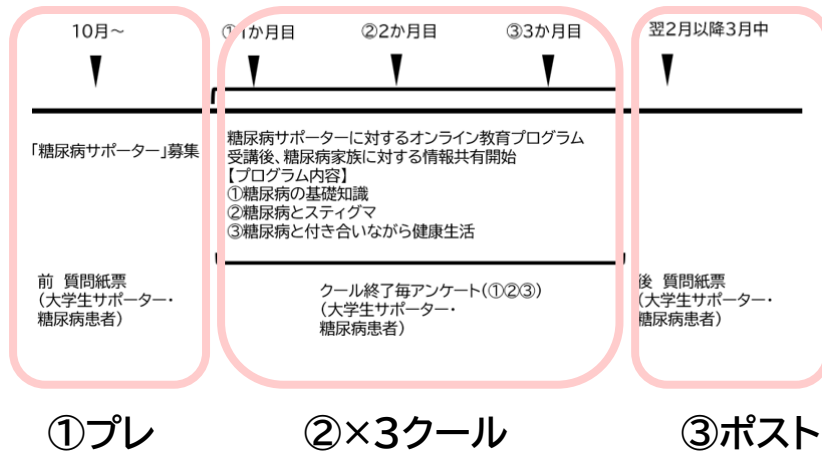


※恐れ入りますが、以下のうち1つでも該当する方はご参加いただけません。

1. 入院中
2. 20歳未満
3. 過去3カ月以内のHbA1c、服薬内容、同意時の体重が不明
4. 失明・四肢切断・透析中
5. 心筋梗塞・脳梗塞の既往がある

皆様をお願いしたいこと

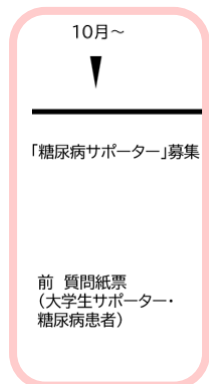
実施スケジュール



大学生サポーター



①プレ



1)同意フォームを入力・送信

<https://forms.office.com/r/QgWekBTptD>

「大学生に対する糖尿病教育が糖尿病家族のウェルビーイングに及ぼす影響に関する研究について」同意書フォーム



ウェルビーイング臨床研究 大学生サポーター プレアンケート

2)プレアンケートに回答

1. 【人生満足度尺度 (Satisfaction With Life Scale: SWLS)】のアンケートは、あなたの人生活に対する満足度を測定するためのものです。全5問です。5点で、リラックスして回答ください。すべての質問に正確・不正解はありません。直感的に最も当てはまるものを選んでください。

	まったく当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	少し当てはまる	非常に当てはまる
私の人生は、私の理想にかなっている。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私の人生は、他の人よりも素晴らしい。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は自分の人生に満足している。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「理想の人生」でなければならぬ。一生懸命生きて、私は満足できる人生を送っている。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
全体的に見れば、私は人生で最も満足している。	☐	☐	☐	☐	☐	☐

2. 【生活習慣について】この1ヶ月間、週当たりの平均運動時間はどのくらいですか (数字で入力) *

回答を入力してください

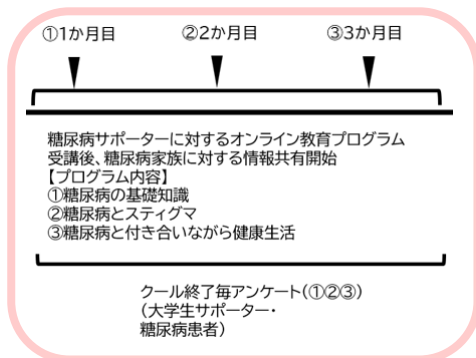
3. 【生活習慣について】一週間の睡眠の頻度を教えてください *

	頻度がない	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回以上
睡眠の頻度	☐	☐	☐	☐	☐	☐

大学生サポーター



②×3クール



1)メールで送るURLから、動画(20分程度)を視聴後、確認テストに回答する



2)動画の内容を糖尿病患者さんに伝える。
・説明に使用するリーフレットを用意します。



3)クール終了毎アンケート(5分程度)に回答して終了



大学生サポーターに見てもらいたいコンテンツ

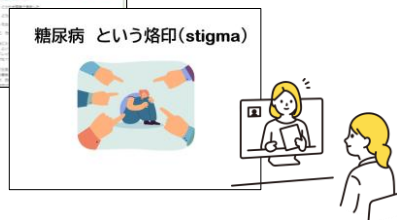
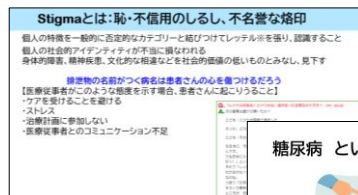
糖尿病サポーターに対するオンライン教育プログラム

【プログラム内容】

- ①糖尿病とスティグマ
- ②知ってよかった糖尿病の基礎知識
- ③糖尿病と付き合いながら健康生活

→受講&確認テスト後に、

同居家族等に対し、「同居家族用リーフレットキット」を用いてプログラム内容を説明する



糖尿病患者さん



①プレ

10月～

「糖尿病サポーター」募集

前 質問紙票
(大学生サポーター・
糖尿病患者)

①同意説明文書に日付と自署をご記入ください

②プレアンケート(計4枚)ご記入ください

③以下の文書を、プレアンケートp4で選択された方法で送付ください(郵送・メール・来所)

☐ お薬手帳の現在服用している内容のコピー
(プレアンケートp1の「今内服している薬」を記載された方は不要)

☐ 過去3カ月以内のHbA1cの検査結果(採血結果用紙や糖尿病連携手帳のコピーなどそれに準ずるもの)

☐ 自署済の同意説明文書

☐ プレアンケート(計4枚)


必要な書類は保健管理センターHPにupします。

大学生サポーターの皆様: 大学生サポーターに後日ご家族用
必要書類をメールしますので、ご家族に回してあげてください。

糖尿病患者さん



②×3クール

①1か月目 ②2か月目 ③3か月目

糖尿病サポーターに対するオンライン教育プログラム
受講後、糖尿病家族に対する情報共有開始
【プログラム内容】
①糖尿病の基礎知識
②糖尿病とスティグマ
③糖尿病と付き合いながら健康生活

クール終了毎アンケート(①②③)
(大学生サポーター・
糖尿病患者)

1) 動画の内容を学生サポーターから聞く



2) クール終了毎アンケート(5分程度)に回答して終了

(プレアンケートと同様の方法(郵送・メール・来所のいずれか)でご返却ください)



大学生サポーター

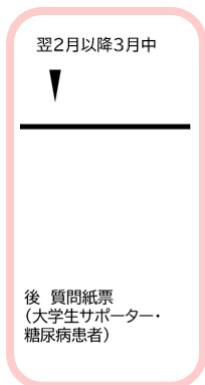


糖尿病患者さん



③ポスト

1)ポストアンケート(15-20分程度)に回答して終了



ありがとうございました。

大学生サポーターに協力費をお渡しします

@保健管理センターへ来所ください

ウェルビーイング指標に関する質問

◆人生満足度尺度

例)私の人生は、私の理想にかなっている。

◆社会的ネットワークの指標(UCLA孤独感尺度)

例)自分はまわりの人と「なじんでいる」と感じる。

◆K6(うつ病を含む気分・不安障害のスクリーニング)

例)(過去30日の間に)神経過敏に感じましたか。

糖尿病に関する質問

<大学生サポーター>

◆糖尿病教育プログラムに対する理解度(確認テスト)

<患者さん>

◆行動の変化(服薬状況・過当たりの平均運動時間・一週間の間食の回数)

◆HbA1cの値・服薬内容

情報共有に関する質問

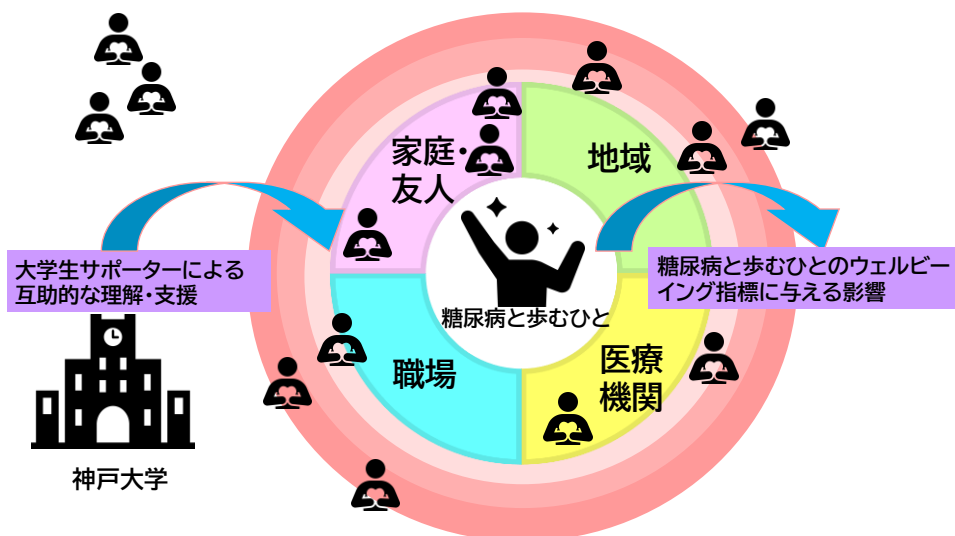
◆プログラム説明に要した時間

◆多次元共感性尺度

例)まわりの人がそうだとすれば、自分もそうだと思えてくる。

アンケートの内容

糖尿病と歩むひとが持続的にいきいきと活動できる社会へ
～医療の枠を超えたウェルビーイング向上を目指して～



お時間いただきありがとうございました



神大うりぼー
神戸大学公式キャラクター

この動画をご視聴いただきありがとうございます。

糖尿病と歩む方々が暮らす社会そのものが、糖尿病に対して理解を示し、持続してサポートしあえるように発展することを願っています。

そのために、糖尿病と歩む方・周囲と一緒に歩む方、双方にどのような支援が最適かを明らかにするために力を貸してください。
お手数をおかけしますが、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。